

- 2面…まちづくりステップアップ講座、多文化共生講座1、防災訓練と講話ほか
- 3面…保育付女性講座「子育て中にパワーチャージ」、公民館市民企画事業ほか
- 4面…サークルから、柳沢公民館トイレ工事に伴う第2会議室の閉鎖について、公運審コラムほか

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

今あらためて平和について考える

その2

爆音聞くと思いました

先月号から引き続き、戦争体験を掲載します。今月号は、北町在住の川原要次郎さん(87)の体験です。南方に出兵し、終戦を迎えたもののすぐには帰国できず、南国の島で送った抑留生活についてお話をいただきました。

飛行機乗りは憧れて

川原さんは昭和2年4月岩手県生まれ。近くに八戸の基地があり、飛行機が飛ぶのを見て育つ中で、いつか自分も飛行機に乗ってみたいと思い、16歳の時、少年飛行兵に志願しました。「いつかは兵隊にとられるのだから早い方がいいという思いもありました」。

故郷から遠く離れて訓練生に

昭和18年10月、少年飛行兵として福岡県甘木(現朝倉市)へ。期が近い先輩は厳しく、同期がタバコを吸っているのを見つけた時は、全員2列に並ばされ、お互い往復ビンタをさせられました。「先輩だってタバコを吸っていたのを知っていたので、悔しく思いました」。

訓練は「赤とんぼ」と呼ばれる布張りの飛行機で。前に練習生が、後ろには教官が乗り、へ

まをするごぶしで殴られました。故郷は遠く、両親に面会に行くのは許されませんでした。

いよいよ兵隊に

昭和19年4月、鹿児島県知覧に配属。希望通り飛行兵になることができたものの、戦闘機には乗れず、爆撃機を任せられました。「戦闘機に乗りたかったのに、悔しかった。戦闘機乗りになった同期は特攻隊となり、その多くが亡くなりました。自分こにはいなかったでしょう。それでもその時の悔しい気持ちは忘れません」。

戦況が進むにつれ、フィリピンのデルカルメンへ、その後マレー半島のイポーへ移動しました。イポーでの生活は戦争中にしては平穏で、民間人の家のプールで泳いだこともありまし

た。「検閲があり、書くことが限られるので、両親に手紙は出せませんでした」。

リンパン島に抑留

そして終戦。「終戦と分かり、あきらめの気持ちとなりました。上官から死に方の指導もありましたが、そんな気も失せました。英軍が来て捕虜となり、インドネシアのリンパン島での抑留生活が始まりました。食べるものがなく、米の配給はほんの握りだけ。トカゲやヘビを焼いて食べたりました。海のそばでは魚は全く釣れませんでした。抑留生活後半には、英軍からブリキ缶の中にビスケット、パンなどが入った補給物資が届きました。ヤシの葉を編んで屋根を作り、木の板を並べて床にし、ごく簡単な家を作って雨風しのぎました」。

日本への帰国

復員船が迎えに来るといいうわさが流れ、遂に昭和21年5月、日本の船が迎えに来ました。「帰路は暑い時期だったので甲板で寝ました。船の上で、マリリアにより死んだ人がいました。棺に石を入れ、海に沈めました」。広島県呉港に到着したのは昭和21年6月。「無料乗車券が支



川原さんは、少年サッカーチーム「SRサッカークラブ」の現役の監督です



給され、それで故郷に向かいました。敗残兵は石をぶつけられるといううわさがあったので、リンパン島のつばをかぶって移動しました。突然帰ったので、父母はとても驚きました。「その日、母が作ってくれたみそ汁が本当においしかった。3年間家を空けましたが、かやぶき屋根の実家には全く変わりはありませんでした」。

戦後は都内で学校事務の仕事につきました。結婚してから下保谷の長屋に引っ越し、二人の息子がサッカーを始めたのをきっかけに、新しく地域の少年サッカーチームを作りました。合併して西東京市になった時から、西東京市少年サッカー連盟の会長をしています。

平成21年6月、新宿で戦後初めて、甘木隊同期の同窓会を開きました。平穏な毎日を送る中、今でも飛行機の爆音を聞く時、当時の事がよみがえります。「あいつは今でも操縦桿を握って、どこかを飛んでいるだろうかなど、仲間思いをはせることもあります。色々なことがありましたが、時は止まらない、前に進んでいくのみです」。

サークル訪問

オカリナ柳沢

「オカリナの音色を届けたくて」

オカリナ柳沢は13年前、趣味で集まった仲間の一人が忘年会でオカリナを披露したことから発足しました。オカリナの音色に魅了されたメンバーが立ち上げたサークルです。

老人ホームや柳沢公民館のロビーコンサートなど、発表に向けて活動しています。当初は、家で練習をするにも音が漏れ、近所の方からも「下手ね」と冗談半分に言われたり、人数がなかなか集まらなかつたりと厳しい状況もありました。それでも活動を続けられたのは、先生の情熱やオカリナの魅力があったからです。また、演奏曲も当初は「めだかの学校」などを演奏していましたが、最近では活動を続けてきた成果として、「愛の讃歌」など難しい曲も演奏することができるようになりました。

出演情報・・・
○ロビーコンサート
9月20日(土)19時～ 柳沢公民館



担当者からの講座報告

地域の人に学ぶ講座

もっと知りたい韓国あれこれ



韓国版すごろく「ユンノリ」を楽しむ様子

ハンガルの学習では、日本語には無い発音を聞き分け、発音する難しさを体感しました。韓国文化や風習についての学習では、初めて知ることが色々あり、異文化に触れる機会となりました。キムチ作りや韓国の伝統的な遊びを体験する時間もあり、参加者に大変好評でした。この講座をきっかけに、9月から韓国語を学ぶサークル「谷戸ハンガール教室」が発足します。会員登録中です。4面参照。